

平成24年6月11日発行
第169号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel: (0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax: (0548)32-1280

「身近な“モンスター性を持つ人”そしてその集団

- 勇気・自信・信念を持ち医療人として“**嬌やか**”に処すか <その4> - 」

5月13日“チャオ御岳スノーリゾート”シーズン最終日。山頂尾根に今年も現われた“寿康の手”を拝みながら、エッジの切れ自身の滑り最終ゴンドラ1013本迄スキーを堪能してきました。

その後5月下旬の早朝夢の中の未来の場面三日間続けて現われました。3年後いや5年後か 或は10年20年先か、私は復活・復興した榛原医師会報“心のひろば”に「〇年前(2012[平成24]年4月3日)榛原医師会 裁定委員会から「本件申請を棄却する。」との一枚の書面が届きました」の書き出しで物書きをしている己の姿が浮かび、“夢うつつ”ではあるが熱く燃え上がり己の“念”が呼び起こされ 覚醒し 考え事を成し これを記憶に留めました。

最近 は 明らかに投げ遣りとは違う感性で、普段「常時“心”“感”の安定を求めている生活は人として 当然望む事」であるが、大きな“意”でこの時己を若者と考え行動するのであれば「“心”“感”の安定・安泰など 無い方が 自己の成長に繋がる」「荒れたゲレンデを 上手に滑走するスキーヤーに成れ」「ネガティブな状況で 己の“器”“力量”をためす時」「体重を前へ 前傾姿勢を保ち ぶれるな!」「多少のギャップは 足腰の強さと柔らかさ “しなり”で 乗り越えていけ」「現実の世界 “現世”で 今けじめを付け 正確に 間違い無く 物申し 決していく事」これを成せと 理解しているのであるが、「“周囲を取り巻く モンスターの集団” 環境に押し潰され、己の意欲が削がれ “数日の休養”が必要な 弱い自分が 顔を出す事」がある。「時は動いており 待ってくれない」と 理解している」のであるが...、そんな時 有り難い事に “友”そして “師”の「相手に「意地張を認め殻を破れ」と言ってくれ」と云わんばかりの助言・アドバイス 大声が耳に入る。“人間”“人” 更に野郎 “男”なら、誰も 心の中 頭の中に “モンスター性”は実在し 捨て去れない、“**嬌やかに**”の言葉を 前向き・ポジティブに捉え 己の魂の中に秘め 活かし、モンスター性を 戒め、“雅寿の文言”を唱えながら、今処している。

本日開催 榛原医師会 吉田・榛原 連絡協議会に於いて、会長の “返答無き状況”を鑑み、下記 を 読み上げる心積であったが、往きのタクシーの中 親父康二の停止命令に従った。

榛原医師会 高木平会長 御机下
前略

榛原医師会 高木平会長宛て書面(No.55 2)(平成24年6月11日)より

先日 6月9日(土) 書面にて申し上げた、貴方 高木平氏の汚点、先ず これらを訂正し、その旨報告下さい、[ヨウ化カリウムの備蓄について 榛原医師会 裁定委員会 “棄却”の件]

私が 貴方 高木平氏の 常時の行動の訂正を求め、敢えて “背任行為”という言葉を用いた事、察して下さい。

本日 6月11日(月)開催の 榛原医師会 吉田・榛原 連絡協議会、冷静に “確”と 話しお答え下さい、「断じて “全て”“棄却”」というような これ以上 “己の“非”を 組織ぐるみの無言・隠蔽”として 処する姿勢”は 避けて下さい、以上 医師会の “公”の席の前に申し上げます、 草々

命令に従った事 後悔している。毎回 榛原医師会員へも 配付中の “康寿診報”、我が医師会について書し留めてきた。「“いかされる”のは “いつ”」「どちらへ転ぶ」、6月25日開催 医師会総会までに「組織が前を向いて歩み創める」そんな “姿”を望む、 加藤寿夫

「救世主 “キューピット”」は誰？

～ 「組織の義」心得る事を学んで《その 》～

「日本国の“未来”というより “数年後の破綻の解除”を 鑑み・行動すべき “今”の日本」野田佳彦首相は 5月30日 「乾坤一擲」との言の下、“キューピットちゃんと成るべき人財”が不在の日本の政界で、自ら腹を決め 運命を掛け いざとなれば己の政治生命を投げ捨てる覚悟で、小沢一郎氏と会談した。“逃げ無い” “誤魔化し無し” “裏での駆け引き・取り引き無し” 政界で基本的にこの姿勢を貫く 野田氏、最近「やっている事は正しいが 政治家には向かない…」などと 書き立て 批判する記事、野田氏を支持する私は “何か違うのではないか”の想いに駆られる。私 個人の考えでは、“小沢氏と決裂”という結論を出し、その後の一見“殺伐とした策”を執行しても、これが “今の最大公約数的なトップの結論”であれば、“後の祭り”と成る前 首相の今の決断” 国民は享受すべきと考える。

牧之原市市長西原茂樹氏と 先日5月24日 今年2度目 面談した。常々 私加藤寿夫と 吉田町町長田村典彦氏との仲を取り持っていたきたい 「“キューピットちゃん”になって欲しい」と お願いしているのであるが、市長室へ入った瞬間 「田村さん(面談する気は無い)駄目だなあ…」から 話が始まった。私は 総論的に「まず 何より “地域格差の是正”が大切ではないでしょうか」と切り出し 話しを返した。今回 確認した事・お願いした内容、 は 今年最初の面談(2月9日)の内容[康寿診報第165号 送付文参照] この延長線上であり、状況は変わらない・替えれないのか むしろ悪化している。更に につき、下記 に箇条書きに纏めてみた。

[2012[平成24]年5月24日 牧之原市 西原茂樹市長と面談した内容]

産業医としての活動の中 現実に起った“事” [康寿診報165号 P1 参照] この詳細のその後であるが、現場では 私の“意”を受けた中間管理職の方が 状況に見合った 出来る限りの対応を成している事。産業医の活動の中で “最終的・究極的には 現場である”と 思い知らされる事。この榛南地区 私の関与する現場以外で かなり怪しい状況が散見・推測される事。また 榛原医師会執行部が 問題を受け留め・執り合わず 取り組む姿勢を示さ無い事、更に “機密事項が担保・守られ無い状況”に 在った事。この件は関わった事務長に訂正を求めているが 未だ対応無き状況である事。地域住民の直接的な問題である “ヨウ化カリウム備蓄問題”について、昨年2011[平成23]年11月28日 榛原医師会臨時総会に於いて 会長 高木平氏の 質疑に対する応答・答弁に 明らかな誤りの在った事[康寿診報第167号 P1 参照]。牧之原市は 全地区備蓄が完了されたが、吉田町は 広報で “必要無し”と 事由も無く報じ 姿勢を改めない事。吉田町 田村典彦町長には 医療人として 訂正を求めるも 無回答である事。西原氏自身 地方自治トップの中心人物として “地域格差を是正”し 牧之原市だけでなく より広域 榛南地域で 必要に応じ 県・国からの指示・圧力に訴えても 間違

いなく配給される体制を確立する等「最低限の“事”が広域で成される旨」
監督していただく事。

徳州会榛原病院の 医師不足の状況 経営状態について 現在の病院機能・
公的な補助の実態を 我々医師団は無論 地域住民に対して 金銭ベースで
もオープンに 正確に示す事。更に 榛南地区 我々医師の立場から 特に
救急患者搬送の際 志太地区の基幹病院は “市民優先”を掲げ 「『どちら
の住人ですか』『吉田町ですが』『市の方ではないのですね』『申し
訳ありませんが...』」の状況。場合によっては 静岡市内 県立総合病院
等への搬送を余儀なくされる実態。極端な言い方をすると 「人の“命の重
さの地域格差”が実際起こり 広がっている状態」 “医療供給の現場で明ら
かな地域格差”が生じている現状を報告させていただいた事。

「社会に対して 公の立場の人間が、己の都合 時々感情により 軸がぶ
れ、直接 社会・公の不利益に 振る舞う事、この是正は 絶対的に必要・必
至な事。特に 我々医療現場に於いては 時間との駆け引き・命との引き換
えに成る事も“想定内”である。怯む時間は無い、断固 肝に命じ 処してい
く。[康寿診報第168号P1より抜粋]」の信念を継続し、諦める事無く、正確に
目覚め“覺して”物申し、地方行政・医師会と共に 己を活かし生きていく事。
上記の為に 西原茂樹氏には 「『従兄弟関係でもある田村典彦氏と私加藤
寿夫の仲介』に入り “キューピットちゃん”を成していただく事。」「私の“意”
を受け 吉田町町長が これを噛み砕き行動する為」に 先ずは「話し合い場
面談を受け入れていただくように」再度 仲介を お願いした事。

更に ここ何年間か 榛原医師会に何を求めてきたか、振り返り 何人もの先輩医師
会員 個人宛に “個に懇願”し 物申してきた事 「ある意味 “キューピットちゃん 捜し”
であったと 断言出来る。多くの方は「間違っていないが やり方が悪い」と言いながら
私の申す事を取り合わなかった。榛原医師会会長 高木平氏が “無言を貫き”、事行
かなくなると 己の非を 榛原医師会という“組織を盾に使う事” こんな状況
“こんな所業”。これに「違ふだろう...」と物申す私、これに耳を貸す事無く見て見ぬ
振りをしてきた事。これに関与する事による「負担・摩擦を避けたかった」と云うのが
本音であろう。未だに 誰も 私 加藤寿夫と 高木平氏との「仲介に入る キューピット
を成す“器”をもつ人間が存在しない榛原医師会」結果 組織として 機能しない・動か
ない 我が医師会 “話し合いも交渉事も皆無”の現状 あまりにも寂しい事と想う。

人間 己が“器”を成し、人と人を結ぶ“業”を成せるなら、互いの“感”を 公・組織の
為に質し 正当な方向に誘導し、貢献すべく キューピット役を演ずるべきと考える。

更に 榛原医師会 議長担当者に対し 総会に於いて 再度下記の朗読をお願いした。

榛原医師会医師会総会 2011[平成23]年6月27日開催に於いて 議長に朗読をお願いした内容
“榛原医師会執行部へのお願い” “話し合いの場”を持つ事 “交渉事”を放棄しない事
医師会が 我々医師の “個の集団としての意義”を持つ事 問題が生じた際 “裁定が成
される組織”である事 以上、私 加藤寿夫が 執行部に求める内容 申し上げます。

《看護師(若干名)募集のお知らせ》

時間 / 8:00 ~ 18:00(交代制・昼休み時間あり)・パート可

休日 / 日曜日・祭日・木,土曜日午後休診

待遇 / 各種保険完備・交通費支給・初年度年休 10 日間

給与 / 当院規定による(フル勤務 30 万/月・時給 1600 円以上)

資格 / 経験者・各種資格所有者 優遇

これから資格取得を目指す方 サポート

応募 / 電話にて連絡(0548-32-0701)の後 履歴書(写真添付)に 連絡先を明記して 本院へ郵送

《診療案内》

毎日 朝 8:00 より 5 分間 阿波踊り
体操をしております。是非御一緒

診療時間	月	火	水	木	金	土
8 時 ~ 12 時						
15 時 ~ 18 時				/		/

「朝の挨拶」の為 一般診療開始は 8:30 からです。

午後の受付は 初診は 17:30 まで 再診は 17:45 まで です。

休診日:日曜・祝日 木・土曜の午後 月末最終日の午後

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないように 気を付け下さい。

6/27(水)午後、6/28(木), 29(金), 30(土)

7/23(月)・8/15(水), 27(月)は全日

臨時休診です。